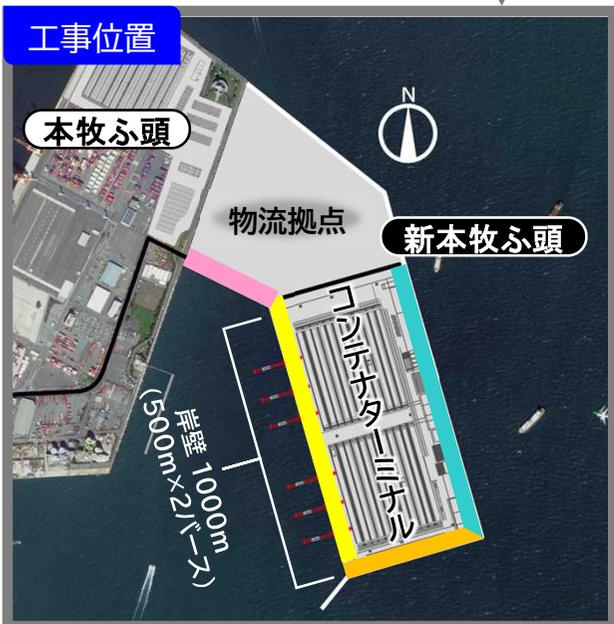




横浜港新本牧地区のコンテナターミナルを形成する岸壁及び護岸(防波)の整備を行います。

●現在施工中の工事

	工事名	工期	施工会社
岸壁 ①	令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事(その2)	R5.10.16 ~ R7.1.15	東亜・あおみ・大本JV
	床掘、基礎工、本体工(セル2函 製作・設置)		
護岸 南側 ②	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事	R6.1.10 ~ R6.12.13	あおみ建設(株)
	基礎工、本体工(ケーソン5函 設置)		
護岸 東側 ③	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側築造工事	R6.2.19 ~ R6.9.13	東亜建設工業(株)
	基礎工、本体工(ケーソン3函 設置)		



R6.4.15撮影

- 護岸
A
- 岸壁
- 護岸
南側
- 護岸
東側



①令和5年度 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事(その2)

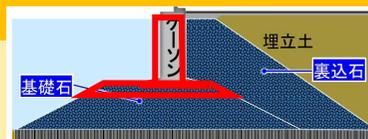
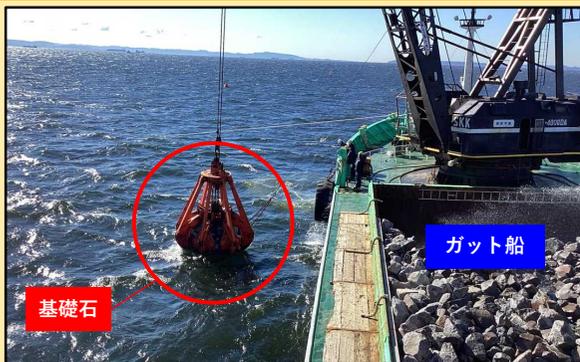


工場で製作した継手などのパーツを鋼板に溶接して取り付けています。



鋼板にパーツを溶接した後は、反対の面にひっくり返して、裏面の溶接作業を進めていきます。この鋼板は1枚約26m×15mの大きさがあり、最終的にはこれを5枚溶接して筒状にします。

②令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事

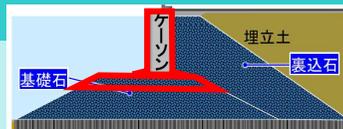


ケーソンを設置する範囲に基礎石を投入することで、構造物の基礎を構築します。

この基礎石の上にケーソンを据え付けるため、平坦にする必要があります。右の写真は、重錘(じゅうすい)というおもりを基礎石に落として、均す作業をしています。



③令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側築造工事



これからケーソンを設置する範囲に、基礎石を投入しています。

投入しただけでは表面に不陸があり、ガタガタしている状態なので、重錘(じゅうすい)というおもりを落下させて平らに均します。

